



Citrix Receiver for UWP (ユニバーサル Windows プラットフォーム)

Contents

新機能	3
解決された問題	3
既知の問題	3
サードパーティ製品についての通知	4
システム要件と互換性	4
構成	9
展開	12
ユーザーエクスペリエンス	12

新機能

August 16, 2018

このリリースでは、社内またはお客様から報告されたさまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題について詳しくは、「[解決された問題](#)」を参照してください。

解決された問題

August 16, 2018

Citrix Receiver for UWP 1.0.6.0 で解決された問題

- Windows 10 オペレーティングシステムを Fall Creators Update (バージョン 1709) にアップグレードすると、Enter キーが機能せず、他のキーの入力が重複することがあります。[#UWP-628]

Citrix Receiver for UWP 1.0.5.0 で解決された問題

- DNS 構成でメールアドレスによるアカウント検出が設定されている時に、FQDN またはメールアドレスを使用してストアアカウントを追加できないことがあります。

[#UWP-600]

- HoloLens デバイスで、VDA セッションを起動できないことがあります。

[#UWP-618]

既知の問題

August 16, 2018

このリリースでは、以下の既知の問題が確認されています。

- PNAgent ストアでサブスクライブされたアプリおよびデスクトップが、ログオン時にホーム画面に表示されません。[#UWP-440]

サードパーティ製品についての通知

August 16, 2018

Receiver for UWP には、次のドキュメントで定義された条件の下でライセンスが有効になったサードパーティのソフトウェアが含まれている可能性があります。

Receiver for UWP - サードパーティ製品についての通知

システム要件と互換性

August 16, 2018

要件

- Windows 10 オペレーティングシステム。

注

Fall Creators Update (バージョン 1709) は、サポートされる最小ビルドバージョンです。バージョン 1709 以前の Fall Creators Update が動作するシステムには、Citrix Receiver for Windows がインストールされます。

互換性マトリックス

対応デバイス

IoT 対応デバイス

Surface PC

シンクライアント

スマートフォン

Surface Hub

Windows 10 S デバイス

Citrix Receiver for UWP はまた、[Citrix 製品ライフサイクルマトリックス](#)の一覧にある、XenApp、XenDesktop、StoreFront、NetScaler Gateway の現在サポート対象のバージョンとも互換性があります。

接続、証明書、認証

シンクライアント

スマートフォン

Surface Hub

Windows 10 S デバイス

また、Citrix Receiver for UWP は [Citrix 製品ライフサイクルマトリックス](#) の一覧にある、XenApp、XenDesktop、StoreFront、NetScaler Gateway の現在サポート対象のバージョンとも互換性があります。

接続、証明書、認証

接続

- HTTPS ストア
- NetScaler Gateway 11.1 および 11.0

セキュリティで保護された接続

TLS

VDA で TLS 接続が構成されている場合のみ、Citrix Receiver for UWP からアプリおよびデスクトップを起動できます。VDA での TLS の構成について詳しくは、「Transport Layer Security (TLS)」を参照してください。

VDA で TLS が構成されている場合、最初の接続試行で TLS 1.2 を使用します。TLS 1.2 がサポートされていない場合、接続は TLS 1.1 にフォールバックし、それが可能でなければ、TLS 1.0 にフォールバックします。ワイルドカード証明書が構成されている場合、TLS を使用して VDA に接続します。

サーバー証明書は RSA の 2048 ビットキー長および SHA 256 アルゴリズムで検証されます。

デフォルトでは、ユーザーデバイスと NetScaler Gateway との接続に **TLS** を使用します。

ルート証明書がローカルのキーストアに必要です。これによって接続時にリモートゲートウェイの証明書が検証されます。Citrix Receiver for UWP が証明書を検証できない場合、警告メッセージが表示されます。ユーザーが警告に対してそのまま続行することを選択した場合、アプリケーションの一覧が表示されますが、アプリケーションは起動しません。

デバイスに正しい日付と時刻を構成する必要があります。Windows によってデバイスの日付に対して証明書の日付がチェックされるためです。

注

Citrix Receiver for UWP は証明書を検証しません。オペレーティングシステムで検証され信頼された場合のみ、SSL 接続を使用します。

証明書

- プライベート（自己署名）証明書
- 中間証明書
- ワイルドカード証明書

プライベート（自己署名）証明書

リモートゲートウェイにプライベート証明書がインストールされている場合、ユーザーデバイスに組織の証明機関のルート証明書がインストールされている必要があります。これによって、Citrix Receiver for UWP を使用して仮想デスクトップおよびアプリケーションにアクセスできるようになります。

自己署名証明書をインストールするには、デバイス上に証明書をダウンロードして、コマンドラインで次のコマンドを実行します：

```
certutil -f -addstore -user root NameOfCert.cer
```

このコマンドを実行するには、管理者レベルの資格情報が必要です。

中間証明書と **NetScaler Gateway**

証明書チェーンに中間証明書が含まれる場合は、中間証明書を NetScaler Gateway のサーバー証明書に追加する必要があります。証明書の構成について詳しくは、Knowledge Center で [CTX122955](#) を参照してください。

ワイルドカード証明書

ワイルドカード証明書は、同一ドメイン内の任意のサーバーで個別のサーバー証明書の代わりに使用します。Citrix Receiver for UWP では、ワイルドカード証明書がサポートされています。

認証

仮想デスクトップやアプリケーションに接続する場合、Citrix Receiver for UWP は Citrix StoreFront および Web Interface をサポートします。

- XenApp/XenDesktop 7.13 以降
- StoreFront 2.1、2.0（推奨）、または StoreFront 1.2
ストアに直接アクセスできます。

- Receiver for Web サイトで構成した StoreFront
Web ブラウザーからストアにアクセスできます。セッションで、ICA ファイルを開いて続行するよう求められます。

接続

Citrix Receiver for UWP では、以下の構成のいずれかを介して、HTTPS 接続を確立できます。

- LAN 接続の場合：
 - StoreFront は HTTPS を使用しています。
注: HTTPS ストアの構成のみがサポートされます。HTTP ストアの構成はサポートされていません。
- セキュリティ保護されたリモートまたはローカルの接続の場合：
 - Citrix NetScaler Gateway 11.1 および 11.0

セキュリティが保護された接続と **SSL** 証明書について

TLS

VDA で TLS 接続が構成されている場合のみ、Citrix Receiver for UWP からアプリおよびデスクトップを起動できます。VDA での TLS の構成について詳しくは、「[Transport Layer Security \(TLS\)](#)」を参照してください。

VDA で TLS が構成されている場合、最初の接続試行で TLS 1.2 を使用します。TLS 1.2 がサポートされていない場合、接続は TLS 1.1 にフォールバックし、それが可能でなければ、TLS 1.0 にフォールバックします。ワイルドカード証明書が構成されている場合、TLS を使用して VDA に接続します。

サーバー証明書は RSA の 2048 ビットキー長および SHA 256 アルゴリズムで検証されます。

デフォルトでは、ユーザーデバイスと NetScaler Gateway との接続に TLS を使用します。

ルート証明書がローカルのキーストアに必要です。これによって接続時にリモートゲートウェイの証明書が検証されます。Citrix Receiver for UWP が証明書を検証できない場合、警告メッセージが表示されます。ユーザーが警告に対してそのまま続行することを選択した場合、アプリケーションの一覧が表示されますが、アプリケーションは起動しません。

デバイスに正しい日付と時刻を構成する必要があります。Windows によってデバイスの日付に対して証明書の日付がチェックされるためです。

Citrix Receiver for UWP は証明書を検証しません。オペレーティングシステムで検証され信頼された場合のみ、SSL 接続を使用します。

プライベート (自己署名) 証明書

リモートゲートウェイにプライベート証明書がインストールされている場合、ユーザーデバイスに組織の証明機関のルート証明書がインストールされている必要があります。これによって、Citrix Receiver for UWP を使用して仮想

デスクトップおよびアプリケーションにアクセスできるようになります。

自己署名証明書をインストールするには、デバイス上に証明書をダウンロードして、コマンドラインで次のコマンドを実行します：

```
certutil -f -addstore -user root NameOfCert.cer
```

このコマンドを実行するには、管理者レベルの資格情報が必要です。

中間証明書と **NetScaler Gateway**

証明書チェーンに中間証明書が含まれる場合は、中間証明書を NetScaler Gateway のサーバー証明書に追加する必要があります。証明書の構成について詳しくは、Knowledge Center で [CTX122955](#) を参照してください。

ワイルドカード証明書

ワイルドカード証明書は、同一ドメイン内の任意のサーバーで個別のサーバー証明書の代わりに使用します。Citrix Receiver for UWP では、ワイルドカード証明書がサポートされています。

認証

StoreFront での認証

- ドメイン
- セキュリティトークン
- 2 要素認証 (ドメイン + セキュリティトークン) *

* NetScaler Gateway が動作する環境でのみ使用できます。

Web Interface での認証

Web Interface では、「指定ユーザー」による認証がドメイン + セキュリティトークン認証に相当します。

- ドメイン
- セキュリティトークン
- 2 要素認証 (ドメイン + セキュリティトークン) *

* NetScaler Gateway が動作する環境でのみ使用できます (デバイスへの NetScaler Gateway Plug-in のインストールは不問)。

Citrix Receiver for UWP で自動的に認証要件 (パスワードか、パスワードおよびパスコード) が検出され、それに応じて認証情報を入力する画面が開きます。プロトコルが別の認証方法を必要とする場合、Citrix Receiver for UWP ではデフォルトでパスワードを求めます。

ユーザー認証の後、Citrix Receiver for UWP にユーザーアカウントの詳細が保存されます。アカウント名は **My Virtual Apps** です。

Citrix Receiver for UWP は、単一アカウントのドメインおよびユーザー名のみストレージをサポートします。複数のアカウントおよびパスワードとパスコードのストレージはサポートされません。ユーザーアカウントは [設定] オプションで編集したり、削除したりできます。

構成

August 30, 2018

Citrix Receiver for UWP は、仮想デスクトップおよびアプリケーションへの StoreFront 接続または Web Interface 接続をサポートします。次の図は、Citrix Receiver for UWP から StoreFront へのローカル接続を示しています。

次の図は、NetScaler Gateway を経由する Citrix Receiver for UWP から StoreFront へのリモート接続を示しています。

次の図は、NetScaler Gateway を経由する Citrix Receiver for UWP から Web Interface へのリモート接続を示しています。

次の構成手順により、ユーザーが仮想デスクトップおよびアプリケーションにアクセスできるようになります：

- アプリケーション配信の構成を実行して、ユーザーが StoreFront ストアを介してアプリケーションにアクセスする場合のユーザーエクスペリエンスを拡張します。
- ユーザーが仮想デスクトップやアプリケーションを使用できるように StoreFront を構成します。サポートされている Web Interface のバージョンでは、特別な構成を設定することなく Citrix Receiver for UWP を介した接続を実行できます。
- NetScaler Gateway で接続して、セキュリティで保護されたアクセスを構成します。
- ファイアウォールを介して接続します。
- ユーザーへのアカウント情報の提供。

アプリケーション配信の構成

XenDesktop や XenApp でアプリケーションをユーザーに配信するときは、ストアを使ってアプリケーションにアクセスするユーザーのエクスペリエンスを向上させるために、次のオプションについて検討します。XenDesktop 7 でのアプリケーション配信については、XenDesktop 7 のドキュメントを参照してください。

- デリバリーグループのアプリケーションにわかりやすい説明を入力します。この説明は、Citrix Receiver for UWP のユーザーに表示されます。
- デリバリーグループアプリケーションの説明に、適切なキーワードを追加します：

- すべてのユーザーがアプリケーションに自動的にサブスクライブするようになるには、説明に「KEYWORDS: Auto」という文字列を追加します。ユーザーがストアへログインすると、アプリケーションがプロビジョニングされます。このキーワードが使用されない場合、ユーザーは手動でアプリケーションをサブスクライブする必要があります。
- 自動サブスクリプションを提供し、さらにユーザーが Citrix Receiver for UWP を使用してアプリケーションを削除することを防ぐには、アプリケーションの説明に「KEYWORDS: Mandatory」という文字列を追加します。
- アプリケーションをアダプタイズする、または最も使用されるアプリケーションを [おすすめ] 一覧に表示するには、説明に「KEYWORDS: Featured」という文字列を追加します。

ほかのキーワードについては、StoreFront のドキュメントの「そのほかの推奨事項」を参照してください。

NetScaler Gateway による接続

内部またはリモートのユーザーが NetScaler Gateway 経由で StoreFront に接続できるようにするには、NetScaler Gateway と StoreFront を統合します。ユーザーは、StoreFront に接続して仮想デスクトップおよびアプリケーションにアクセスできるようになります。Citrix Receiver for UWP を使用して接続します。

- Citrix Receiver for UWP のカスタムクライアントレスアクセスポリシーの構成

リモートユーザーが NetScaler Gateway を使用して Web Interface 展開環境に接続できるようにするには、NetScaler Gateway で Web Interface のサポートを構成します。詳しくは、「[Accessing XenApp and XenDesktop Resources with the Web Interface](#)」を参照してください。

注

Citrix Receiver for UWP はスマートフォンで優先されます。豊富なユーザーエクスペリエンス機能を利用するには、ノートブックおよびデスクトップで Citrix Receiver for Windows を使用することをお勧めします。Citrix Receiver for Windows は、[ダウンロード](#) ページからダウンロードできます。

ファイアウォールを介した接続

ネットワークファイアウォールは、送信先アドレスとポート番号に基づいてパケットを通過させたりブロックしたりできます。ファイアウォールが使用されている場合、Citrix Receiver for UWP は Web サーバーおよび Citrix サーバーの両方でファイアウォール経由で通信できることが必要です。ユーザーデバイスから Web サーバーへの通信のため、ファイアウォールで HTTP トラフィックを許可する必要があります。また、Citrix Receiver for UWP と Citrix 製品サーバー間の通信では、ポート 1494 とポート 2598 の受信 ICA トラフィックがファイアウォールを通過できるように設定します。

ユーザーにプロビジョニングファイルを提供する

StoreFront により提供されるプロビジョニングファイルを使用して、ユーザーはストアに接続できます。

管理者は、StoreFront を使用して、接続の詳細情報を定義したプロビジョニングファイルを作成できます。作成したプロビジョニングファイルをユーザーに提供して、Citrix Receiver for UWP を自動的に構成できるようにします。Citrix Receiver for UWP をインストールした後で、ファイルを開いて構成します。Receiver for Web サイトを構成する場合は、そのサイトからユーザーに Receiver のプロビジョニングファイルを提供することもできます。

メールアドレスによるアカウント検出を構成する

Citrix Receiver for UWP でメールアドレスによるアカウント検出機能を有効にすると、ユーザーはサーバーの URL の代わりに自分のメールアドレスを入力できます。DNS (Domain Name System: ドメインネームシステム) サービス (SRV) レコードにより、そのメールアドレスに関連付けられている NetScaler Gateway または StoreFront サーバーが自動的に検出され、仮想デスクトップやアプリケーションにアクセスするためのログオンを求めるメッセージが表示されます。

メールアドレスによる Receiver アカウントの検出機能が正しく動作するように DNS サーバーを構成する方法については、StoreFront のドキュメントを参照してください。

NetScaler Gateway の構成について詳しくは、NetScaler Gateway ドキュメントを参照してください。

注

メールアドレスによるアカウント検出は、Web Interface 環境では使用できません。

アカウント情報をユーザーに手入力させる

ユーザーにアカウント情報を入力させる場合は、以下の情報を提供する必要があります：

- StoreFront ストアまたは Web Interface 展開環境の XenDesktop Services サイトまたは XenApp および XenDesktop サイトの URL。例: <https://servername.company.com>
- NetScaler Gateway を使用してアクセスする場合は、そのサーバーのアドレス。

ユーザーが新しいアカウントの詳細を入力すると、Citrix Receiver for UWP により接続が検証されます。検証に成功すると、そのアカウントにログオンするための画面が開きます。

ユーザーが Receiver for Web サイトに移動すると、インストールまたはログオンを求めるメッセージが表示されます。以下の手順に従うように、ユーザーに指示します：

1. インストールまたはログオンを求めるメッセージが表示されたら、[ログオン] を選択します (Citrix Receiver for UWP がインストールされているので、ユーザーはログオンする必要があります。) Receiver for Web ウィンドウで利用できるアプリが表示されます。
2. [Receiver for Web] ウィンドウからアプリを起動します。
3. 開くまたは保存を求めるメッセージが表示されたら、[開く] を選択します。

アプリが起動します。

XenApp および XenDesktop サイトからアプリを起動しようとする時、ファイルを開くまたは保存を確認するメッセージが表示されます。ユーザーが [開く] を選択するとアプリが起動します。

アカウントの追加

ユーザーが手動でアカウントを設定できるようにするには、接続に必要な情報を次のように配布します：

- StoreFront ストアへの接続の場合は、そのサーバーの URL を提供します。例：<https://servername.company.com>
Web Interface 展開環境の場合、XenApp および XenDesktop サイトの URL を提供します。
- NetScaler Gateway を経由する接続の場合は、ユーザーにすべての構成済みストアを表示させる必要があるのか、または特定の NetScaler Gateway に対するリモートアクセスが有効になったストアだけを表示させる必要があるのかを判断します。
 - 構成済みストアを表示させる場合は、ユーザーに NetScaler Gateway の完全修飾ドメイン名を提供します。

ユーザーが新しいアカウントの詳細を入力すると、Citrix Receiver for UWP により接続が検証されます。検証に成功すると、そのアカウントにログオンするための画面が開きます。

注

Citrix Receiver for UWP は、StoreFront で 1 つのストアの構成のみをサポートします。

パスワードを記憶する

Citrix Receiver for UWP は、[パスワードを記憶する] 機能によって、ストアへのアクセスに必要なユーザーの資格情報を提供します。

Citrix Receiver for UWP の起動後、メッセージが表示され、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。資格情報を入力して、[パスワードを記憶する] オプションを選択します。

[パスワードを記憶する] が選択されていない場合、ストアにアクセスするたびに資格情報を入力する必要があります。

展開

August 16, 2018

Citrix Receiver for UWP は、Microsoft ストアで「Citrix Receiver」として公開され、Windows 10 を実行するすべてのデバイスで利用できます。Citrix Receiver for UWP をインストールするには、ストアで Citrix Receiver を検索して、[購入] を選択してください。

ユーザーエクスペリエンス

August 16, 2018

Microsoft Continuum のサポート

Citrix Receiver for UWP (ユニバーサル Windows プラットフォーム) は、Microsoft Continuum デバイス (Microsoft Lumia 950 シリーズ、HP Elite X3 Lap Dock など) のハードウェアに対応します。

Microsoft Continuum は、Windows 10 オペレーティングシステムの機能です。この機能によって、Windows 10 およびユニバーサルアプリは使用中のハードウェア (スマートフォン、タブレット、ノートブック、デスクトップ PC) を検出し、各ハードウェアに最適化された方法で表示し、動作します。また、ハードウェアモードの変更にも対応できるようになります。たとえば、タブレットを物理キーボードから切り離れたときや、スマートフォンを表示のために外部モニターに接続した場合などでも、適切に対応します。ハードウェアモードの変更によっては、アダプタが必要な場合があります。

Citrix Receiver for UWP は、Continuum とともに使用する以下の外部デバイスをサポートします：

- ポインティングデバイス
- キーボード
- HDMI 対応モニター

Continuum は、有線接続およびワイヤレス接続の両方で使用できます。スマートフォンを外部ディスプレイに接続すると、アプリケーションは、外部ディスプレイに対応した解像度に調整されます。

ピンチしてズーム機能のサポート

Citrix Receiver for UWP では、アクティブなセッションでピンチしてズーム機能を使用できます。

設定

Citrix Receiver for UWP の起動後、[設定] を選択してさまざまなオプションを構成します。[設定] オプションは次のタブを表示します：

1. アカウント
2. 基本設定
3. ログ
4. バージョン情報

アカウント

[アカウント] タブでは、StoreFront へのアクセスに使用するストアの詳細を構成できます。名前、説明、StoreFront URL などが表示されます。

このタブで、ストアの詳細を編集、または削除できます。

[ログオフ] を選択して、セッションからログアウトします。

基本設定

[基本設定] タブでは、自動的にタッチキーボードを表示するオプションを構成できます。

キーボード自動ポップアップを有効にした場合、テキストフィールドなど、ユーザーの入力が必要なフィールドを選択すると、自動的にタッチキーボードが開きます。

デフォルトでは、キーボード自動ポップアップ機能は有効になっています。

Citrix Studio と Receiver for UWP で設定されたポリシーが異なる場合、次のように動作します。

Citrix Studio ポリシー	Receiver for UWP 設定	動作
無効	有効	無効
無効	無効	無効
有効	無効	無効
有効	有効	有効

ログ

[ログ] タブでは、セッションログを追跡できます。

接続の問題のトラブルシューティングに使用するために、Receiver for UWP でログが生成され、Microsoft OneDrive に保存されます。

デフォルトでは、[ログの有効化] はオフになっています。

ログを有効にするには、[ログの有効化] をオンにします。

注

[ログの有効化] をオンにすると、Citrix Receiver for UWP の動作が遅くなることがあります。

バージョン情報

[バージョン情報] タブは、デバイスで使用されているソフトウェアの詳細を表示します。

詳細には、ソフトウェアのバージョン番号、サードパーティ製品についての通知へのリンク、フィードバックのためのメールアドレス (RfUWPfeedback@citrix.com) が含まれます。

**Locations**

Corporate Headquarters | 851 Cypress Creek Road Fort Lauderdale, FL 33309, United States

Silicon Valley | 4988 Great America Parkway Santa Clara, CA 95054, United States

© 2019 Citrix Systems, Inc. All rights reserved. Citrix, the Citrix logo, and other marks appearing herein are property of Citrix Systems, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).